

## 令和4年度 第5回千歳市地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時 令和5年2月27日（月）10時00分～11時20分

会 場 総合福祉センター402号室

出席者 小林副会長、品田委員、早野委員、鈴木委員、高本委員、吉田委員、山根委員、藤本委員、浜委員、荒井委員、立田委員、池下委員、杉浦委員、池田委員、稲葉委員、京野委員、岩佐委員、若生委員

欠席委員 今委員、五十嵐委員、山北委員、二ツ屋委員、斉藤委員、經亀委員、倉重委員

事務局 小尾企画部次長 交通政策課 富成課長、遠藤係長、木津主事

傍聴者 0名（随行者：道南バス株式会社札幌営業所副所長）

### 【次第】

- 1 開 会
- 2 報告事項
- 3 協議事項
- 4 その他
- 5 閉 会

### 【協議結果】

- ・報告事項（1）～（3）について、承認された。
- ・協議事項（1）について、承認された。

### 【会議要旨】

#### 報告事項

- （1）JR千歳駅東口広場の賑わい創出に向けた社会実証実験の開催結果について  
（事務局より資料1に基づき説明）

#### （副会長）

路線バス利用促進事業についての報告があったが、現在、千歳駅前広場の再整備を行っており、今年度は、東口広場の整備が行われたところに併せ、にぎわい創出のためにキッチンカー営業を実施したということであるが、この件について、ご意見、ご質問があれば発言願いたい。

#### （委員）

キッチンカーの利用については、利用者、事業者ともに、概ね満足され、にぎわいの創出が伺えるということによろしいと思うが、例えば、利用者がキッチンカーを利用する際に、どのような交通手段で訪れたかということについては調査されたのか。

(事務局)

今回は、利用者がどのような手段で訪れたのかというところまで踏み込んで調査することはできなかったが、広場のにぎわい創出と併せて、公共交通機関の利用促進の観点も非常に重要であると考えているため、次年度開催する際には、今回のご意見を含め、アンケート等の参考としたいと考えている。

(副会長)

他に意見、ご質問があれば発言願いたい。(特になし)

特になければ、路線バス利用促進事業については、報告済みとさせていただいてよろしいか。

(一同：意義なし。)

## (2) 路線バスの利用状況について

(事務局より資料2に基づき説明)

(副会長)

路線バスの利用状況についての報告があったが、コロナの影響で落ち込んでしまった利用が少しずつ回復してきているといった内容であった。

今後、更なる利用者の伸びも期待される結果であったが、この件について、ご意見、ご質問があれば発言願いたい。(特になし)

3月からマスクの着用については個人の判断にゆだねられることや5月からは、コロナの感染症法上の位置付けが5類に引き下げられることから、今後は国内、海外を問わず、観光客が増えていくことが見込まれる。

路線バスの利用者のさらなる増加も期待されることから、今後も路線バスの利用状況について注視していきたい。

特になければ、路線バスの利用状況については、報告済みとさせていただいてよろしいか。

(一同：意義なし。)

(3) 桜木長都線の運行ダイヤについて  
(事務局より資料3に基づき説明)

(副会長)

桜木長都線の通年試験運行の方針については、第3回の協議会で協議済みであるが、今回の協議会で、運行ダイヤ等について報告済みとされた場合、どのようにして利用者に周知されるのか。

(事務局)

以前、実証運行を行った際には、対象となる町内会に対し、運行内容に関するチラシの全戸配布を実施しており、今回についても同様に町内会への周知を実施する予定である。

(副会長)

バス停への掲示等を行わないのか。

(委員)

運行の取り止めなどのお知らせは、通常のダイヤ改正の際に、時刻表と並べて掲示することが一般的であり、今回の桜木長都線の朝夕の運行の取り止めについても、3月10日前後を予定しているが、可能な限り速やかに、停留所にお知らせを掲示する予定である。

(副会長)

よく利用される方の利便性を考え、ニーズのある方々に適切な情報がタイムリーに届くようにしていただければと思う。

他に意見、ご質問があれば発言願いたい。(特になし)

特になければ、桜木長都線の運行ダイヤについては、報告済みとさせていただいてよろしいか。

(一同：意義なし。)

## 協議事項

- (1) 令和5年度事業計画（案）及び予算（案）  
（事務局より資料4に基づき説明）

（副会長）

令和5年度事業計画（案）及び予算（案）について、昨年度の事業計画に加えて、今年度は、路線バスの運行情報システムの機能向上、ノーカード推進強化期間の取組の市内民間企業との連携、自動運転バスの視察の3つの事業が新たに盛り込まれていたようである。

以上の報告についてご意見、ご質問があれば発言願いたい。（特になし）

路線バスの運行情報システムの機能向上について、現在、市が取り組まれているが、このようなシステムは、高齢者でも使用できることが重要であり、誰にでもわかりやすいシステムの構築は非常に難しい課題である。

マイナンバーカードの普及についても同様であるが、デジタル化のサービスが増え、スマートフォンを使用することが必須となっており、路線バスの運行情報システムについても、若い人にとっては到着時刻や現在のバスの走行位置を把握することができ、利便性が高くなることが期待されるが、高齢者などの情報弱者に対する対応についても考慮いただきたい。

自動運転についても、事業者にとっては、運転手不足の解消につながることを期待されているが、実際のところ、完全に自動ということではなく補助役として、人は乗車しているため、根本的な解決に至るかは難しいところではあるが、自動運転の知見を深めるという点については、よい取組ではないかと考える。

ご意見、ご質問が特になければ、令和5年度事業計画（案）及び予算（案）については、協議済みとさせていただいてよろしいか。

（一同：意義なし。）

## その他

- (1) 「市公式LINEを活用した運休等の情報発信について」  
（事務局より資料5に基づき説明）

（副会長）

市公式LINEを活用した運休等の情報発信についてご報告があったが、2月1日に運用開始と同時に降雪があり、運休等が生じたことからシステムが早速活用され、非常に良い時期に運用を開始したと感じており、ぜひ今後ともこのような情報発信の仕組みを充実させていただきたい。

以上の報告について、ご意見、ご質問があれば発言願いたい。

(委員)

システムの市民周知については、どのような方法で行うことを想定されているか。

(事務局)

システム運用前に市公式 LINE での周知をしたほか、市長の定例会見、広報 2 月号での周知を行っている。ただ、1、2 回の周知では、利用者も情報を取得することは中々難しいと考えるため、重ねての周知に努める。

他に意見、ご質問があれば発言願いたい。(特になし)

特になければ、市公式 LINE を活用した運休等の情報発信については、報告済みとさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(一同：意義なし。)

(2) 「千歳相互観光バスの減便運行に関する現状報告について」

(千歳相互観光バス株式会社より説明)

(委員)

1 月 10 日から実施している、減便について、当面の間ということでお話させていただいたが、現在も乗務員の確保ができず、乗務員不足の状況は継続している。

市民や市役所から様々なご意見をいただき、改善をできるところについては、ただいま検討を行っているほか、併せて、乗務員の募集にも取り組んでいるが、応募が 1 人もなく、厳しい状況が続いているところであり、減便については、今後も続くこととなるがご理解いただければと思っている。

(副会長)

本日の協議は以上であるが、全体を通してご意見、ご質問があれば発言願いたい。

(特になし)

それでは、事務局に進行をお返りする。

(事務局)

皆様のご協力のおかげで、今年度、最後の協議会を無事終えることができたことに感謝申し上げます。

次年度の開催については、6 月頃に開催を予定しているが、年度が新しくなり、異動の時期も重なることから、委員の変更が、生じる場合には、事務局までご連絡をいただくようよろしくお願いいたします。

以上をもって、本日の会議を終了する。

以 上